



第37回シベチャリ駅伝大会 10/7

『第37回シベチャリ駅伝大会』がピュア前を発着点に開かれ、小学生から一般まで33チーム・165人が出場しました。

駅伝は、年齢や過去の実績などから5クラスに分かれて実施。5人1チームで、2kmの周回コースを1人1周走り、たすきをつなぎました。

ランナーは、沿道の大きな声援と拍手を受けながら、日頃鍛えた自慢の足とチームワークで特設コースを駆け抜けました。



第56回精神保健北海道大会 10/6

北海道精神保健協会などによる『第56回精神保健北海道大会』が町公民館で開かれ、ノンフィクション作家の吉永みち子さんが「自分らしく生きる」と題した記念講演をしました。

吉永さんは自身の体験から、世間の中で自分を見失わずに生きるためには「どんな状況でも自分を否定せず、本当にしたいことは言葉にして語ることが大切」と話し、参加した医療・福祉関係者や町民ら約150人は、熱心に耳を傾けていました。



レストランで学ぶ!テーブルマナー教室 9/22

町教育委員会による文化講座『レストランで学ぶ!テーブルマナー教室』がナチュラルリゾートハイジアのオーガニックレストラン「アグリコラ」で開かれ、24名が参加しました。

参加者は、牛肉のタリアータや有機野菜のサラダ、特製プリンなど6品の洋食コース料理を味わいながら、ナイフとフォークの作法や肉料理の食べ方など、料理をおいしく味わうためのマナーを学びました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



第3回障がい者乗馬大会 10/14

障がいを持った方に、馬とのふれあいや乗馬の楽しさを知ってもらおうと『第3回障がい者乗馬大会』がライディングヒルズ静内で開かれました。

大会には、町内や管内をはじめ、道内外から約20名が参加し、馬の障害物競走「ジムカーナ」や「スラローム」、「玉入れ」などの競技に挑戦しました。参加者は、会場からの大きな声援と拍手を受けながらゴールを目指し、タイムを競い合いました。



2012しずない農業まつり 10/7

食の安全・安心生産と消費を結ぶ感謝祭『2012しずない農業まつり』が、しずない農協前広場で開かれました。

会場では、地元で収穫された新鮮な秋野菜や新米「万馬券」、みついし和牛の格安販売や、農畜産物が当たるお楽しみ抽選会のほか、ミニトマトの重量当てクイズなどさまざまなイベントが行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。



第46回スプリンターズステークス制覇 9/30

中央競馬秋の最速王決定戦『第46回スプリンターズステークス』(G I・芝1200メートル)が中山競馬場で開かれ、ケイアイファーム(三石川上)生産馬のロードカナロア号がG I初勝利を飾りました。

ロードカナロア号は、最後の直線で先頭馬を一気に差し切り、3/4馬身差しりぞけて見事1着でゴールイン。

レース後、同牧場には続々と関係者が訪れ、喜びと祝福の声であふれていました。



レキシントン市友好親善訪問団来町 9/21~24

昭和63年に姉妹都市提携を結んだアメリカ合衆国ケンタッキー州レキシントン市から友好親善訪問団25名が来町しました。

滞在中は、町内の施設や牧場見学、えりも岬など管内各地の観光を楽しんだほか、静内神社例大祭では、法被を身にまとい、みこし担ぎに挑戦。日本の伝統文化を体験しながら、町民との交流を深めました。



おそうじのキホン! 10/13

町教育委員会による文化講座「おそうじのキホン!」が町福祉センターで開かれ、20名が参加し、年末に向けての大掃除や浴室、ガラス掃除のコツなどを学びました。



第7回町民水泳大会 9/29

『第7回町民水泳大会』が町静内温水プールで開かれました。レースは25m板キックから50mバタフライまで年齢・男女別等に分かれて行われ、選手は優勝を目指しタイムを競い合いました。



第66回シャクシャイン法要祭 9/23

アイヌ民族の長、英傑シャクシャインをしのぶ『第66回シャクシャイン法要祭』が静内真歌公園で開かれ、全国から千人以上のアイヌ民族らが訪れ、祈りをささげました。



NTTドコモ少年野球教室 9/22

NTTドコモ北海道支社による「少年野球教室」が三石緑ヶ丘公園球場で開かれ、町内野球少年団の75名が参加し、日ハムOBの村田英司さんの指導の下、守備練習や打撃練習を行いました。